

JPPPGI 研究事業

□研究事業名

厚生労働科学研究費補助金 医療技術実用化総合研究事業
高齢者におけるアスピリンの一次予防効果に関する研究
～消化管障害に注目したリスク&ベネフィットの検討～

(JPPPGI: Japanese Prevention Project with Aspirin in the elderly – risk assessment of Gastrointestinal events –)

□研究概要

2008年10月にACCF/ACG/AHAにより出された非ステロイド系消炎鎮痛剤の消化管障害に関する提言を受けて、2005年から実施されている大規模臨床研究JPPP試験(脳血管、冠動脈を含めたアテローム血栓症を診断されていない高血圧症、高脂血症または糖尿病を有する高齢者を対象に、低用量アスピリンによる血栓症に対する一次予防効果の検証)を検証における日本人の低用量アスピリンによる消化管障害の詳細な実態調査を行い、一次予防における低用量アスピリンのリスク・ベネフィットを検証を行う。

□研究期間

平成21年11月～平成24年3月末



JPPPGI 研究計画

JPPP

試験方法: 中央登録法による多施設共同ランダム化比較試験
アスピリン腸溶錠(100mg/日)投与群vs非投与群
対象: 脳血管、冠動脈を含めた動脈硬化性疾患を診断されていない
高血圧症、高脂血症または糖尿病を有する高齢患者
(60歳~85歳)
症例数: 14,659例(追跡4年以上)

実態の調査

成果を提供

JPPPGI

21年度

22年度

23年度

- JPPP全登録症例を対象とする消化管有害事象の二次調査
- 患者・医師への啓発活動
- JPPP年次調査に際し、新たな消化管有害事象の二次調査
- 患者・医師への啓発活動、回収データ解析
- JPPP年次調査に際し、新たな消化管有害事象の二次調査
- 患者・医師への啓発活動、回収データ解析

JPPPGI 研究の意義と期待される効果

安全・安心への新しい一歩

血栓症一次予防に
対するアスピリンの
有用性(リスク・ベネ
フィット)の評価
重要な情報の提供

重篤な疾患の予防
医療費・介護費の
削減

健康余命の延長
家族・患者の生活の
質の向上

JPPPGI研究組織

研究代表者	池田 康夫	早稲田大学理工学術院生命医科学科 教授 慶應義塾大学 名誉教授	
研究分担者	上村 直実	国立国際医療研究センター国府台病院 院長	
	平石 秀幸	獨協医科大学内科学(消化器) 主任教授	
	寺本 民生	帝京大学医学部 医学部長	
	内山 真一郎	東京女子医科大学大学院医学研究科神経内科分野 主任教授	
	島田 和幸	自治医科大学附属病院 病院長	
	山田 信博	筑波大学 学長	
	山崎 力	東京大学大学院医学系研究科臨床疫学システム講座 教授	
	及川 眞一	日本医科大学内科学講座(血液・消化器・内分泌代謝部門) 教授	
	安東 克之	東京大学大学院医学系研究科分子循環代謝病学講座 准教授	
	溝上 裕士	筑波大学附属病院光学医療診療部 病院教授	
	横山 健次	慶應義塾大学医学部(血液内科) 講師	
	研究協力者	後藤 由夫	日本臨床内科医会 名誉会長
		菅原 正弘	日本臨床内科医会 常任理事
データセンター	新保 卓郎	独立行政法人国立国際医療研究センター医療情報解析研究部 部長	
研究事務局	エリアワークス株式会社		

